

平成28年第4回白石町議会定例会会議録

会議月日 平成28年9月16日（第11日目）
場 所 白石町役場議場
開 会 午前9時33分

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	川崎一平	10番	秀島和善
2番	前田弘次郎	11番	井崎好信
3番	溝口誠	12番	大串弘昭
4番	大串武次	13番	内野さよ子
5番	吉岡英允	14番	西山清則
6番	片渕彰	15番	岩永英毅
7番	草場祥則	16番	溝上良夫
8番	片渕栄二郎	17番	久原房義
9番	久原久男	18番	白武悟

2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一	副町長	百武和義
教育長	北村喜久次	総務課長	本山隆也
企画財政課長	井崎直樹	税務課長	木下信博
住民課長	門田和昭	保健福祉課長	大串靖弘
長寿社会課長	矢川又弘	生活環境課長	門田藤信
水道課長	喜多忠則	下水道課長	堤正久
農業振興課長	鶴崎俊昭	産業創生課長	久原浩文
農村整備課長	山口弘法	建設課長	荒木安雄
会計管理者	小池武敏	学校教育課長	松尾裕哉
生涯学習課長	千布一夫	農業委員会事務局長	西山里美

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長 吉岡正博
議事係長 中原賢一

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

4番 大串武次 5番 吉岡英允

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案第49号 平成27年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について
(討論・採決)

日程第3 議案第57号 平成28年度白石町一般会計補正予算(第3号)
(討論・採決)

日程第4 発議第2号 白石町議会委員会条例の一部を改正する条例について

日程第5 発議第3号 白石町議会会議規則の一部改を改正する規則について

日程第6 発議第4号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持をはかる
ための、2017年度政府予算に係わる意見書について

日程第7 常任委員会の閉会中における所管事務調査

9時33分 開議

○白武 悟議長

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

日程第1

○白武 悟議長

日程第1、会議録署名議員の指名をします。

会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、大串武次議員、吉岡英允議員の両名を指名します。

日程第2

○白武 悟議長

日程第2、議案第49号「平成27年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について」を議題とします。

本案は、質疑が終了していますので、討論から入ります。

討論ありませんか。

○秀島和善議員

議案第49号「平成27年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について」、私は反対の立場で討論をさせていただきます。

本町の農家、商売をする町民、高齢者、若い子育て真っ最中の若者などもどん底の経済から脱し切れず、毎日医療や雇用、生活、子育て、農業運営などに大きな不安を抱えて生活しています。とりわけ農家においては、ことしべと病での被害で6割弱の被害がこうむっております。このような実態にあるからこそ、暮らしと福祉と産業の守り手としての行政の仕事は全力を挙げて一人の町民も路頭に迷わさないという決意

で臨むべきではないでしょうか。以下、7点の内容について決算にはどうしても賛成しかねますので、田島町長におかれては町民の暮らしと生活を命がけで守る責任から今後の予算の中で配慮することを求めるものです。

まず第1に、高い国保税を引き下げるために国民健康保険特別会計に思い切った繰り入れを行い、1世帯年間1万円の引き下げを実行すべきです。原資として27年度末で財政調整積立基金の約25億4,200万円を活用すべきです。

第2に、後期高齢者医療制度の負担金は町民の願いとは逆行しています。財界や医療関係者が喜ぶような医療制度ではなく、真に町民のためになる医療であり、老後が安心できる医療制度が必要です。一日も早く制度を廃止して、もとの老人医療制度に戻すことが必要です。

第3に、障害者自立支援法関連予算について反対であります。新体系に移行すると何回も言ってますけれども、法律上の応益負担と日割り補助については廃止をしていくことが必要です。

第4に、同和事業や同和教育などを特別視することにつながる予算は廃止すべきです。全国でも部落解放同盟の不法事件は全国各地での職員の不正や暴力団との癒着問題、現在も確認会、糾弾会などの方針は堅持しています。

第5に、高い水道料金を引き下げるために水道特別会計に繰り入れを思い切って増額するべきです。

第6に、新エネルギー計画の具体化のためにも太陽光発電システムの導入促進のための補助金は今後も必要です。

最後に、第7として、子供の医療費無料化は高校卒業するまで拡充すること。700万円の予算で実現することができます。

生きる権利は町民にあり、守る義務は国と県と町にあるのです。現在、政府のほうは年金を引き下げ、支給年齢は68歳にする考え、その上消費税率を8%から10%へ引き上げる計画です。国が町民の命と暮らしを守らないのであれば、最後のとりでとしての白石町が体を張って町民の暮らしと命と福祉を守るべきではありませんか。議員各位の御理解と御賛同をお願いして、反対討論とさせていただきます。

○白武 悟議長

ほかに討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで討論を終わります。

これより採決をします。

本案は「平成27年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について」です。

本案の認定に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立多数です。よって、議案第49号は認定することに決定しました。

日程第3

○白武 悟議長

日程第3、議案第57号「平成28年度白石町一般会計補正予算（第3号）」を議題とします。

本案は、質疑が終了していますので、討論から入ります。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより採決をします。

本案は「平成28年度白石町一般会計補正予算（第3号）」についてです。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第57号は原案のとおり可決されました。

日程第4

○白武 悟議長

日程第4、発議第2号「白石町議会委員会条例の一部を改正する条例について」を議題とします。

趣旨の説明を求めます。

○岩永英毅議員

それでは、発議第2号についての提案説明をいたします。

提案理由としましては、次期議会議員の定数が削減されることに伴い、白石町議会委員会条例の一部を改正する必要があるためでございます。

変更内容については、既に皆さん方御承知のとおりでございますので、省略いたします。

○白武 悟議長

お諮りします。

発議第2号は、条例の趣旨、内容も判明しており、議員全員の同意を得ております。この際、質疑、討論を省略することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。よって、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより発議第2号「白石町議会委員会条例の一部を改正する条例について」を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。よって、発議第2号は原案のとおり可決されました。

日程第5

○白武 悟議長

日程第5、発議第3号「白石町議会会議規則の一部を改正する規則について」を議題とします。

趣旨の説明を求めます。

○岩永英毅議員

発議第3号についての提案理由を申し上げます。

地方自治法の改正により議会における欠席の届け出の取り扱いに関し新たに規定を設ける必要があるためでございます。

これも全議員内容については了解済みのため、内容については省略いたします。

○白武 悟議長

お諮りします。

発議第3号は、規則の趣旨、内容も判明しており、議員全員の同意も得てます。

この際、質疑、討論を省略することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより発議第3号「白石町議会会議規則の一部を改正する規則について」を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、発議第3号は原案のとおり可決されました。

日程第6

○白武 悟議長

日程第6、発議第4号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持をはかるための、2017年度政府予算に係わる意見書について」を議題とします。

事務局に意見書案を朗読させます。

○吉岡正博議会事務局長

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持をはかるための、2017年度政府予算に係わる意見書(案)。

日本の教育への公的支出は国内総生産の3.5%で、これはOECD諸国の中で6年連続最下位という悲惨な状況である。その中で、障がい者差別解消法の施行に伴う障がいのある子供たちへの合理的配慮への対応やいじめ、不登校問題、子供の貧困問題など、学校を取り巻く状況は複雑化、困難化しており、学校に求められる役割は拡大している。特に特別支援学級適の児童数の増加、さらには一般のクラスにも支援が必要と思われる児童が在籍していて、突発的な行動の対応に担任が追われる事例がふえている。こうしたことを改善し、子供たちをしっかりと育てていくためには専門的な知識を持った教員を含む計画的な教職員定数改善が必要である。

第7次教職員定数改善計画の完成後10年もの間、国による改善計画のない状況が続いていたが、今年度は文部科学省の概算要求で教職員定数の拡充を目指す方針が打ち出されている。特別支援教育コーディネーターの専任化を含めて、一人一人の子供たちへのきめ細かな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、学校現場の現状を踏まえた教職員定数の改善が不可欠である。

義務教育費、国庫負担制度については、三位一体改革の中で、国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられた。幾つかの自治体においては厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われているが、国の施策として定数改善に向けた財源保障をし、子供たちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。子供の学ぶ意欲、主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備は不可欠である。

こうした観点から、2017年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう強く要望する。

- 記。1、子供たちの教育環境改善のために計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため義務教育費国庫負担制度の堅持と義務教育費の総額を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年9月16日。白石町議会。

衆議院議長大島理森様、以下、敬称を略します、参議院議長山崎正昭、内閣総理大臣安倍晋三、総務大臣高市早苗、財務大臣麻生太郎、文部科学大臣松野博一。

以上です。

○白武 悟議長

お諮りします。

発議第4号は、さきの請願採択に伴う意見書であり、既に趣旨説明があつていますので趣旨説明を省略することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認め、趣旨説明を省略することに決定しました。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより発議第4号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の堅持をはかるための、2017年度政府予算に係わる意見書について」を採決します。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立多数です。よって、発議第4号は原案のとおり可決されました。

日程第7

○白武 悟議長

日程第7、常任委員会の閉会中における所管事務調査を議題とします。

会議規則第72条の規定により、お手元に配付しております、各常任委員長から閉会中の継続調査について申し出がっております。本件について各常任委員長から報告をお願いします。

○久原房義総務常任委員長

それでは、総務常任委員会の所管事務調査について申し出をいたしたいと思えます。

まず、事件といたしましては、東日本大震災並びに熊本地震等についての大規模災害に対する復興庁の取り組み等について調査をいたしたいと思えます。

なお、議会改革につきましては、長野県の飯綱町における取り組み、特に議会白書を発行されておまして、それらについての研修をいたしたいというふうに思っております。

なお、期間といたしましては、28年11月中旬を予定をいたしております。よろしくお願ひいたします。

○内野さよ子文教厚生常任委員長

失礼します。

閉会中の継続調査の申出書。

本委員会は、所管事務のうち下記の事件について閉会中の継続調査を要するものと決定をいたしましたので、会議規則第72条の規定により申し出をします。

事件。移住希望者を引きつける魅力あるまちづくり及び学校と町がともに子供を育てるまちごとキャンパスプロジェクト事業の取り組みについてということで、括弧にあります島根県海士町と川本町を視察したいと思っております。人口の約2割が移住者という驚異の島として近年有名になりました島根県海士町を視察しますけれども、移住者により少子・高齢化を克服している町の現状と、何よりも移住希望者を引きつけている島の美しさ、質の高い教育事業や産業振興を通じた仕事、そして人間味あふれるサポート体制を視察したいと思えます。それから、まちごとキャンパスプロジェクト事業により生涯学習やキャリア教育の視点を取り入れた生涯学習に力を入れている島根県川本町を視察したいと思っております。将来は地域社会のリーダーとして活躍できるように学校と町がともに子供を育てる方策を視察、学習をしたいというふうに考えていますので、よろしくお願ひをいたします。

○大串弘昭産業建設常任委員長

それでは、産業建設常任委員会からの閉会中の継続調査申し出をいたします。

まず、事件といたしましては、大きくタイトルを出しておりますけれども国内の農業情勢の現状を把握及び白石町の6次産業の販路拡大についてということでございますが。

まず、国内農業情勢の把握状況につきましては、JA白石職員さんの案内、紹介で

J A全中会館で研修を受けることにしております。それから、白石町の6次産業化の販路拡大につきましては、11月8日、9日に有明、東京ビッグサイトで開催されます地方銀行主催のフードセレクションの視察を白石町6次産業化企業者の皆さんと行うことにいたしております。

期間といたしましては、次期議会定例会開会の前日までということで、28年11月上旬を予定をいたしております。よろしく申し上げます。

○白武 悟議長

お諮りします。

各委員長からの申し出を閉会中における所管事務調査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出を閉会中における所管事務調査とすることに決定しました。

以上で本定例会に付された案件は全て終了しました。

会議を閉じます前に町長から挨拶があります。

○田島健一町長

平成28年9月定例議会の閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

今議会は、9月6日から本日までの11日間、議員の皆様提案いたしました「平成27年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定」の議案、「平成28年度白石町一般会計補正予算」の議案など14件に及ぶ議案につきまして、十分な御審議をいただき、全ての議案、原案どおり可決いただきました。まずもって、ありがたく厚くお礼を申し上げます。今回の審議の過程におきましても、いろいろな御意見を賜りました。いただきました御意見につきましては、今後の町政執行にしっかりと反映させていく所存でございます。どうぞ今後ともよろしく御協力、御指導の方お願い申し上げます。

今議会におきましては、平成28年度補正予算の中にタマネギべと病対策の事業について計上をさせていただいたところでもありまして、いろんな観点からの御質問をいただき議論をさせていただきました。タマネギの播種作業がこれから始まっていくわけでございます。生産者の皆さん方におかれては、来年度に向かって平成29年産が豊作になるよう努力されていかれますので、町といたしましても最善の支援に努めてまいる所存でございます。

また、平成27年に策定いたしました白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げております新しいことへの挑戦する人への積極支援ということに対しまして、今議会補正予算に新規農作物開発研究費を新規計上させていただきました。可決いただきましたので、地元の皆さんとともに積極果敢に取り組んでまいりたいというふうに思います。

近年日本国内だけでなく、国外におきましても大きな自然災害が発生しているようでございます。地球規模での気象変動によるものではないかというふうに思われます。白石町におきましても、先日の台風12号は最悪のコースと思われましたが、不幸中の

幸いと申しますか、大きな被害も残さず、通過していただきました。来週は台風16号が接近するようでございますが、何もないかと思ってるところでございます。事前の対策、そして来襲時の対応等には万全の態勢で臨むこととしているところでございます。そこで、今年度事業としております、防災施設整備事業、いわゆる告知放送端末整備につきましては今議会におきまして、繰越明許費として可決いただいたところでございますが、一日も早い整備完了に努めてまいりたいというふうに思っているところでございます。

今議会におきまして、全議案御承認いただきましたことを改めてお礼申し上げ、御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○白武 悟議長

これもちまして平成28年第4回白石町議会9月定例会を閉会します。

9時58分 閉会

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成28年9月16日

白石町議会議長 白 武 悟

署 名 議 員 大 串 武 次

署 名 議 員 吉 岡 英 允

事 務 局 長 吉 岡 正 博